

健全化判断比率と資金不足比率の推移について

健全化判断比率と資金不足比率等の過去5年間の推移は次のとおりです。

いずれの年度も早期健全化基準、経営健全化基準には該当していません。

健全化判断比率

	H29	H30	R1	R2	R3	早期健全化基準
実質赤字比率	—	—	—	—	—	15.0
連結実質赤字比率	—	—	—	—	—	20.0
実質公債費比率	8.0	9.2	10.3	10.7	10.2	25.0
将来負担比率	100.6	109.4	109.3	101.8	79.1	350.0

資金不足比率

	H29	H30	R1	R2	R3	経営健全化基準
水道事業会計	—	—	—	—	—	20.0
下水道事業特別会計	—	—	—	—	—	20.0
工業団地整備事業特別会計	—	—	—	—	—	20.0

※「—」は赤字額、資金不足額が発生していないことを示します。